

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル・ホウルの翼(伝語)】

2012年9月号



夏も終わり一気に秋の雰囲気へ…
もちろん、スポーツの秋ですよ、皆さん！
岐阜国体ももうすぐですね。岩手県勢の
活躍を楽しみにしています!!



白熱のチェリーカップ！がんばろう東北勢！

8月18～19日、第20回東日本小学生大会(通称チェリーカップ)が山形県東根市で開催されました。昨年は東日本大震災の影響で中止となった本大会。多くの小学生がこの夏の大会を心待ちにしていました。岩手県からは例年どおり、リトルハンド、矢巾フェニックス、そして我々が花巻クラブジュニアの3チームが出場。全体では男子17チーム、女子14チームが出場。また今回は千葉県から初参加のチームもあり、毎年出場チームが増えています。さて、岩手県勢の結果をお伝えしましょう。

男子 一回戦

リトルハンド 12 - 20 湯沢市ハンド(秋田)
矢巾フェニックス 25 - 10 JHC いしばし(栃木)
花巻クラブジュニア 12 - 16 尾花沢ハンド(山形)

男子 二回戦

矢巾フェニックス 11 - 27 新治クラブ(茨城)

女子 一回戦

花巻クラブジュニア 12 - 8 大崎ハンド(宮城)
矢巾フェニックス 12 - 13 JHC いしばし(栃木)
リトルハンド 7 - 22 富岡ラビッツ(群馬)

女子 二回戦

花巻クラブジュニア 10 - 19 麻生フェニックス(茨城)



残念ながら、岩手県勢は2回戦までで敗退してしまいました。また、東北勢も上位に食い込むことができず、関東勢との力の差を見せつけられた形になってしまいました。ちなみに、男子は新治クラブ、女子は土浦ハンドボールクラブが優勝し、茨城県勢が男女アベック優勝を果たしました。この悔しさを胸に、来年は東北勢が少しでも上位入賞できるよう頑張りたいと思います。東北魂見せてやろう！

JOC 岩手選抜は男女そろって本選出場権獲得！おめでとう



9月1日～2日、花巻市総合体育館にて第21回JOCジュニアオリンピックカップ東北予選会が開催されました。毎年12月の本選は、今年から福島県で開催されることになりました。そのため、福島県は開催地枠で出場権獲得となり、残る東北5県で予選を戦うことになりました。さらに女子の部は、残念ながら青森県と山形県が出場辞退したため、岩手、秋田、宮城の3県は、予選の結果に関わらず本選への出場権を得ました。男子は5県による予選で、2つの東北ブロック出場権を争うことに。総当たりリーグ形式で、猛暑の中熱戦を繰り広げました。

岩手県男子チームは、県中総体で優勝した見前中のメンバーを中心にチームを構成しました。その中で、中村惇平選手(花巻クラブジュニア→花巻中)が唯一花巻地区から選出されました。中村選手はスターティングメンバーで登場し、

両利きと長身を活かしたミドルシュートで得点源として活躍！そのおかげもあって、岩手は初戦、秋田県を35 - 23で破ると、続く青森県との試合も40 - 20のダブルスコアで勝利。ハンドボール王国いわての力を発揮します。2日目、山形県に36 - 18のダブルスコアで勝利し、本選への出場権を獲得！このまま全勝で大会を終えたいところでしたが、1試合分時間を空けての連戦となり、最終戦となった宮城県との試合では後半に逆転を許してしまいました。最終的には東北2位での予選通過となりましたが、本選では優勝を目指して頑張ってきてほしいと思います。



同じく岩手県女子チームも、県中総体優勝の見前中を中心に、大宮中、矢巾中などからメンバーを補強しチームを作ってきました。秋田県との初戦は残念ながら25 - 18で負けてしまいましたが、翌日の宮城戦では12 - 10で辛勝し、男子と同じく2位となりました。率直な感想を言いますと、もっと得点力がほしいところ！特に宮城戦では、前半5得点のみに終わってしまったので、本選に向けて攻撃力アップを図ってほしいと思います。ガンバレいわて！

なお、今回レフェリーを務めた西郷晃先生は、今年で審判の定年を迎えられるため、「最後の」担当試合となりました。ペアの柏館秀一先生と息の合った歯切れのよい

レフェリングを見せていただきました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします！



齊藤凌選手がユースアジア選手権で活躍 世界選手権への切符をゲット！

ビッグニュースです！不來方高校(3年)の齊藤 凌選手(花巻クラブジュニア→花巻北中、写真左)が9月6日～15日までバーレーンで開催された第5回男子ユースアジア選手権にU-19日本代表メンバーとして出場、準優勝を果たし、来年ハンガリーで開催される世界選手権の出場権をゲットしました！齊藤選手は、同じく不來方高校の安部竜之介選手(リトルハンド→松園中、写真中央)と共にU-19日本代表メンバーに選出され、共に全試合に出場。また、不來方高校監督の内記徹先生(写真右)もコーチングスタッフとしてチームを牽引しました。代表では、齊藤選手はいつもの右エースポジションとは違う大型の左腕サイドとして活躍し、日本チームの勝利に貢献しました！その日本チームは、サウジアラビア、イラク、オマーンと初日からの3連勝で波に乗り、続くカタール戦には残念ながら敗れたものの、クエートに勝利し、ついに準決勝へ進出。準決勝では開催地バーレーンとの顔合わせ。地元の大応援の中、前半を1点ビハインドで折り返すと、後半終盤必死に食らいつき、29 - 29の同点で延長戦へ突入！藤勢流選手(山形県・北村山高校)の速攻などでリードを奪い、34 - 33でタイムアップ。決勝進出を決め、上位2位に入ったため、ユース男子としては初の世界選手権への出場権を獲得しました！



決勝戦では、予選で敗れたカタール(選手のほとんどがロシアやチュニジアなどからの帰化選手だそうです！)にまたも苦杯をなめ、アジアチャンピオンの座はお預けとなりましたが、日本代表の歴史を変える素晴らしい結果！現地の在留日本人の方たちにも連日応援していただいたそうで、ますますハンドボールが注目を集めることになるのではないのでしょうか。齊藤選手、本当におめでとう！安倍選手、内記先生も大変お疲れ様でした！来年の本選にも是非代表入りして、世界の舞台に立ってください

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2012年9月号
2012年9月25日 発行
発行: 花巻市ハンドボール協会
Special thanks to 岩手ハンド
ボール応援ページ様